



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体、おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査され、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

#### 【対象となる方】

2012年12月7日以降にご同意いただいた方で

アルツハイマー型認知症、軽度認知障害、パーキンソン病と診断された方、特に疾患のない方

#### 【研究課題名】

神経変性疾患の髄液バイオマーカーの開発

#### 【研究責任者】

橋本康弘（福島県立医科大学 医学部生化学講座）

#### 【本研究の目的及び意義】

細胞から分泌されるほとんどのタンパク質は糖鎖修飾を受ける。糖鎖修飾は細胞種に特異的であるため、細胞種・疾患特異的なバイオマーカーとなりうる。我々は髄液中のタンパク質の中に神経細胞由来のユニークな糖鎖を持つ分子を見出した。また、この分子の濃度は特定の神経変性疾患において変化していた。今後、各種神経変性疾患での本マーカーの髄液濃度を系統的に測定し、疾患マーカーとしての確立を目指す。

#### 【本研究に提供する試料・情報】

髄液、血液

#### 【研究期間】

2021年1月19日～2025年8月31日

2021年5月

(問い合わせ窓口)

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク

所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)